

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 2 8 年度 第 2 回 地域計画策定部会
開 催 日 時	平成 2 8 年 1 2 月 1 3 日（火） 午後 7 時 0 0 分～午後 9 時 1 5 分
開 催 場 所	市役所西館 はつらつセンター
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 計画策定に対する取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回分科会の振り返り【資料 1】 ・ スケジュール案の検討【資料 2】 ・ 委員体制協議【資料 3】 ・ アンケート実施方法検討【資料 4】 <p>3 連絡事項</p> <p>4 閉会</p>
委員出席者	滝川 健一・竹下 隆康・加藤 重行・杉下 尚由 老平 千昌・仲井敬太郎・鈴木 誠 ・河邊 続子 山本 紀子
欠 席 者	1 人 今泉 亮司
事 務 局	西村自治振興課長・田村千郷自治振興事務所長 戸田主事・森田主事
会議資料	資料 1 地域計画策定に向けた留意事項 まとめ 資料 2 地域計画策定スケジュール 資料 3 各地域協議会分科会設置状況 資料 4 アンケート実施方法比較表

1 開会

会議成立の報告

9名の委員出席により会議成立

2 議事

(1) 計画策定に対する取組みについて

○前回の分科会を振り返る

事務局から【資料1】地域計画策定に向けた留意事項まとめを説明。

○スケジュール（案）の検討

事務局から【資料2】地域計画策定スケジュールの説明

■決定事項

地域計画策定期間：2年間を目標とする。

計画策定準備：H29.4月から6月までの間で勉強会を開催する。

計画策定開始：7月から

－主な意見－

（委員）

4月から6月は各団体の繁忙期であり、役員交代して間もないので、考慮する必要がある。

（委員）

各団体任期が1年であり、交代して間もない。新委員さんの地域自治区制度を理解してもらうためにも一定の期間を設定する必要がある。

（委員）

動きは7月からとした場合、新委員や出席できる方で計画の勉強会を開催することも可能ではないか。

○策定内容について

■決定事項

現状把握：アンケート・団体ヒアリング・問題の深掘り作業

過去の地域協議会意見

目標設定：平成29年度検討

－主な意見－

（委員）

現状把握をしっかりとやるのが大事なので、意見交換会などにより

活動している団体からヒアリングを行ったほうが良い。過去の協議会で抽出した課題をデータとしてまとめていく必要がある。

(委員)

現状把握をしっかりとできていれば、解決策は隣り合わせの関係であると思います。

(委員)

目標設定方法は現状把握を行えば自然と見えてくるので、その都度決めていけば良いと思う。現状が見えていないので目標設定方法が浮かばない。

○策定体制について

資料3 各地域協議会分科会設置状況を基に検討を行った。また、委員長より構成人数について案を提示した。

■決定事項

地域協議会に地域計画策定部会を設置する。

分科会構成を以下のとおりとする。

分科会構成 14名以内	
行政区推薦者	4人
前年度地域協議会 会長	1人
前年度地域協議会 副会長	3人
区長(前年度行政区推薦者)	4人
地域推薦女性	2人

－主な意見－

(委員)

人数が増えると話が言いにくくなり、10人程度であれば、意見が言いやすい。

(委員)

分科会は深い協議をするために設置し、全体会で諮るという形になると思うが、委員全体に認識共有できるように考えなければならない。

3 連絡事項

(1) 第10回地域協議会

日時：12月19日(月)午後7時から 西部公民館

内容：分科会で協議した結果を報告する。

(2) 他地区の地域計画策定に向けたアンケートの提供

7月以降に設問などの検討に入る際に活用していただきたい。

《本日のまとめ》

・自治振興事務所長

地域計画策定は手探りで進めていくような形になると思います。決めきっていない部分がまだいっぱいありますので、それに応じて体制を変えていく方が良くと思います。解決策立案ではテーマごとに深く検討が必要になってくると思いますし、分科会のみでは大変な作業になると思います。鳳来北西部のように地域協議会前にテーマごとに協議するなど人数を増やすという方法論はいくつかあると思います。当面はアンケートや意見交換会、目標設定、解決策などをどのようにしていくかを分科会で決めることになろうかと思っています。

閉会